

平野の提案が
実現しました

置き去りにされた子どもたち
今まで教育委員会に学力向上施策なく

学力支援ツールの画期的活用を

新規予算をかけずに来年度から学習支援ツールの活用に動き出せるようにしました！

昨年、神戸市の教育行政を大きく揺るがしてきた一連の事案の対応には、全力で取り組み信頼を取り戻さなければなりません。ところが**教育委員会**はその事による**組織風土改革一辺倒**で走り続け、学力向上施策に対し、**小学校 74,696 人、中学校 33,886 人**の子ども達を“ないがしろ”にしてきました。

教育委員会は本会議でも「**組織風土改革が喫緊の課題で、学力向上施策に取り組めてこなかったというのが最大の反省点と認識**」と実に呆れる答弁まで～

平野は以前から**学習支援ツール導入**を働きかけてきたことで、全小・中学校に個別配信と学校配信を**実現**しました。



そして、確かに学習支援ツールを活用した学校は学力向上に**大きな効果**が見られたので、全小・中学校に配置している「**学ぶ力・生きる力向上支援員**」を昼休みや放課後等に、**コンピュータールームで生徒指導**する事を職務内容として位置づける事を提案し**実現**までこぎつける事が出来ました。

これから全小・中学校が一斉に学力向上に向けて動き出すこととなりますので、保護者の皆様も家庭配信などのご支援下さるようよろしくお願い申し上げます。



提案

「学ぶ力・生きる力 向上支援員」は、平成27年度から神戸市立小中学校に順次配置され、平成28年度からは、全小中学校に配置されています。「学ぶ力・生きる力 向上支援員」は落ち着いた学習環境作りや児童生徒の学習意欲の向上や基礎基本の充実を図ることなどに取り組んでいます。

特別配信の特徴を紹介します。

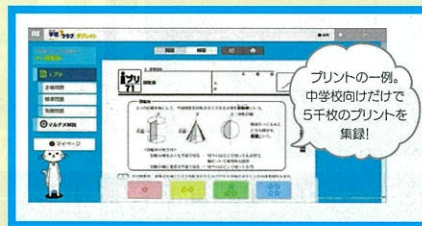
学校以外でもたとえば家庭等で自由な時間に、個々の学力の定着状況に応じて、単元、項目の難易度等を選択してプリントを印刷したり、動画を視聴したりして何度も自学自習することができます。



▲放課後学習の様子

学習支援ツールとは

児童生徒の習熟度に応じた教材プリントが作成でき、映像や音声による解説機能の対した学習支援ツールを全小中学校等で活用し、児童生徒の習熟度に応じた学習を支援します。



プリントの一例、中学校向けに5千枚のプリントを収録！

「マイページ」機能



▲学習支援ツール画面例

生徒が学習した際に、自己採点で4種類のカラースタンプを押すことにより、3年間5教科のすべての単位、項目の学習履歴を作成することができます。学習履歴の一覧を見ることで、自身の弱点項目が一目でわかり、考査前や入試前に重点的に復習することができます。また、教員も生徒の学習履歴を確認することができ、進捗状況に応じたアドバイスができるようになっています。

「加害教員給与停止条例」に続き ～ 見せかけとして教育長の指示で「校長ら約320人のボーナス増額見送り」へ しかし、神戸市教育委員会がやるべきことは、パフォーマンスではなく信頼回復なのです!!

神戸市の公立小学校での加害教諭による“いじめ”問題で支払い続けていた給与について、連日の報道にあおられ即席の条例改正により給与を差し止めた。さらに、約320人のボーナス増額の見送りを表明。

何の問題もない、多くの熱心な校長先生の処分まで本当に必要か？

ところが！ このパフォーマンスはヤラセ！？

平野は11月29日委員会で不支給について

「後日、さかのぼって支払われる」のではと「質問」したところ

行政財政局長が認め、教育委員会の実態が明らかになったのです！

求めているのは【教育委員会が裏工作をすること】ではありません！

“行政職主導の教育委員会幹部組織”が教育現場と信頼関係を益々失われていくような風土こそ改革が必要でしょう!!!

NHKニュース 2019.11.29 18:30～



ボーナス増額見送り分「後払いの可能性も」

それができたときには(支給を)こし4月までさかのぼります



あとでちゃんと(賞与を)戻すのであれば結果的にパフォーマンスだ

罰を与えたいに市民には見せておいて結果的には(賞与を)戻す

そんなことでは(市民の)不信感が募る

都心三宮再整備構想を打ち上げた神戸市だが いまだに核となる**JR**には相手にされず~!!

神戸市は都心三宮再整備構想を発表後、歩行者空間を生み出す三宮クロススクエア、バスターミナル、市役所の建替等々、それぞれ単独事業として示されていますが、**未だ神戸の街の魅力としての将来像が示されていません**

令和元年10月11日 本会議にて

三宮再整備において最重要拠点とも思える「**JR三宮駅**」建替計画について」

神戸市は JR 西日本から何の情報も示されず **連携もとれていない** ということではないですか

JR 三宮駅 の立て替え計画内容の情報は把握出来ていない

2015年平野が提案した内容と同じような構想が品川では実現！
＜国道上空を生かした巨大デッキ＞

2015年9月平野は JR三宮駅からそごう(当時)まで **超巨大ペDESTリアンデッキ**を提案

品川駅西口の駅前広場整備事業計画 詳しくご存知ですか？ 知っていたらうすいでください

首を横に振る

詳しくは知らないということですね~

品川のプロジェクトは【 JR、国土交通省等、官民が一体 】となって進んでいます、神戸市もJR 西日本と協議の場を持ちませんか？

市長「JRとの連携は大事です」と理解を示すが

他都市をまねするのではなく、神戸の特性を考えるべきではないか。しかし、民間事業者やJR西日本との連携も大変大事ですからご指摘を踏まえ進めます

と市長に答弁いただきましたが...

その「神戸の特性」が何なのか？市長の言われるのは「山があり海があり」と地形の魅力...

その特性を活かした**具体的施策**が見えてこないのが大問題なのでは？

(品川駅西口整備計画などを一つの参考にし)神戸市だけで構想を進めず【JR西日本などと官民一体】になって

~民間センスも取り込みながら~ 事業推進して頂くことを願うばかりであります！



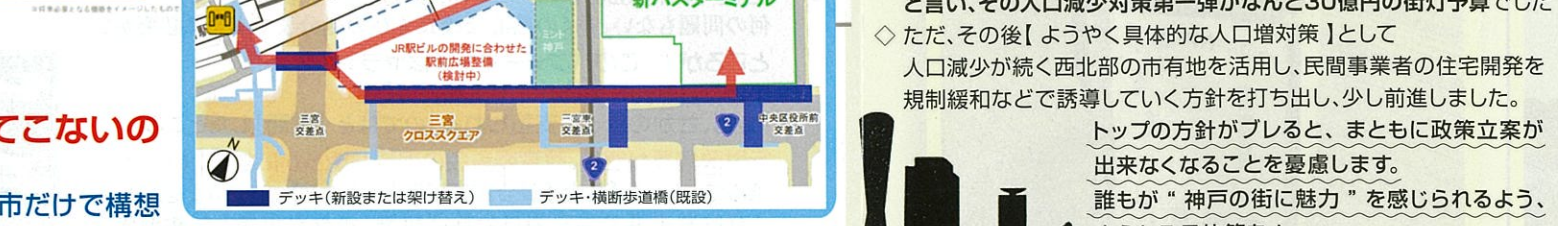
品川駅西口駅前広場整備事業計画

JR・京急品川駅
センターコア
次世代型交通ターミナル
商業施設
国道15号線

品川駅西口を交通結節点として、規制緩和を最大限に活用し、国道上空の人口地盤上に都心より半分を【次世代型交通ターミナル】、横浜寄り半分を賑わい広場として3~4層の【商業施設やイベントスペース】を配置する構想



◆次世代型交通ターミナル◆
◆有事の際には、防災拠点としても活用◆
賑わい広場のイメージ



これが人口減少対策って？ 30億5,400万円の街灯予算

市長就任6年目
市長は「人口減少幅拡大に申し訳ない」と... (だが、既に神戸市の人口減少拡大は織り込み済みのはずでは?)
昨年9月補正で【街灯予算30億円】を計上し【神戸市人口減少対策第一弾】として打ち上げたがこれが人口減少対策になるとは~ ??? 知りませんでした~
この街灯整備計画が【街の安全・安心対策】なら理解できますが無理筋でも人口減少対策としての政策は費用対効果面で疑問を感じています。

以前より【神戸市長】は
◆「人口を増やすこと自体を目標とせず、都市の規模より都市の価値を高めることに視点を置いた政策を展開する」との発言後
神戸市の人口はあっという間に福岡市、引き続き川崎市にも追い越され現実を感じた【神戸市長】は

◆「人口減少対策に緊張感を持って取り組む事が出来ていなかった」「人口は都市のパロメーターだ、残念！対策が十分でなかった」と言い、その人口減少対策第一弾がなんと30億円の街灯予算でした
◇ただ、その後【ようやく具体的な人口増対策】として人口減少が続く西部の市有地を活用し、民間事業者の住宅開発を規制緩和などで誘導していく方針を打ち出し、少し前進しました。
トップの方針が打つと、まともに政策立案が出来なくなることを憂慮します。
誰もが「神戸の街の魅力」を感じられるよう、さらなる具体策を!

未来のオリンピック選手を育成できるチャンス！ 支援の方より提案を受けました~

オリンピック競技にもスケートボードが入り、若者や小さな子供たちもはじめていけど禁止区域が多く滑れる施設が欲しい！
海外ではストリートでバスケットゴールや、スケートボード、BMX等オリンピック種目ができる施設が身近にあるのに...!
大人が遊ぶ事を注意する時代だからこそ子供たちの施設が必要では!

平野も同感です！子どもたちがチャレンジできる魅力の場を神戸に！
神戸市は「若者に選ばれるまち」と言葉だけは掲げていますが、具体策がまるで見えてこない~！神戸の魅力をもっとどのように打ち出すのか！各局が連携・継続性をもって取り組むよう求めました。



また別の方より相談が~
その公園はキャッチボール禁止となっており、ボールが公園の外へ飛び出すことを想定せず低い柵が設置されているだけなので、小さい子どもがこぼれ球を追って、いつか事故につながるのでは...と心配の声でした。
早速、建設局にかけあったところ、当初、建設局は「公園内に禁止の立札を設置」、<学校にボール遊び禁止の指導をする>というまず禁止からの発想でした。
えっ？一体誰のための公園なのでしょう！平野は再度、建設局に子供達に対する配慮を訴え、何とか工夫して頂き、既存の柵にネットを設置していただくことができました。

ハンディキャップ・療育イベントを大成功に導いた ロック界でのカリスマ的存在 松原裕氏の「熱きおもい」と共に！

(松原裕氏は3月10日ライブ終了後、4月4日に永眠されました。)
障がいのある方々と共にロックライブを企画したいとの「おもい」を松原氏と平野が共有していたところ、松原氏が始動されました。
障がいのある方々とご家族、オーディエンス、アーティスト、スタッフ...そして、ご賛同頂いた多くの関係者の皆様と一体となったイベントはかつてない企画として大成功!!!
笑顔と涙そして感動に包まれたの記憶に残るライブでした。

WANT YOU TO KNOW
松原裕さん！その「おもい」をこれからも引き継いでいきます。



ライブ演奏に生徒・教職員・保護者が一体感を瞬時に巻き起こす光景は圧巻
iNtElogiQ in 本多聞中学校
シンガロンパレード in 桃山台中学校
中学校の三送会(3年生を送る会)では神戸市の市民参画局と民間との合同企画として、毎年複数校でロックバンド演奏をしてきました。全校生徒が一堂に会する体育館では、まるでライブハウスのような雰囲気、ステージ前の生徒たちや会場の全ての皆さんが一体となって盛り上がり、まさに感動のひと時でありました。今、生徒たちと教職員、保護者の方々と深い信頼関係が確実に築かれるという、このような取り組みこそ、今の教育現場で最も求められるものと痛切に感じております。

医療関連企業が神戸に根付く提案を平野は長年言い続け～

神戸医療産業に巨額投資を続け、研究・開発で20年余り やっと事業化として第一歩を踏み出すか!!!

日本最大級のバイオメディカルクラスター



神戸市は神戸医療産業都市として 340 社以上の企業や研究機関などを集積してきましたが、事業化への道のりは非常に厳しい状況が続いていました。

そこで平野はこの現状を打破し、事業化への展開に向けて例えば神戸市中央市民病院などが持つ**医療のビックデータ**を企業と連携して利活用し、双方にメリットのある事業化へと進めていく体制を整えるように議会での具体的提案を言い続けてきました。

その結果、神戸市は**ようやく動き出した**のであります。それは日本最大級の神戸メディカルクラスター内で**高度な専門医療を提供する医療機関9病院群と企業や研究機関・大学等との連携を促進**し、新たな医療技術を創出するための臨床研究・治験や共同研究・開発に関する相談や依頼を円滑かつ迅速に病院群の医師などに繋いでいくことを目的に、やっと神戸市はその第一歩として**“相談窓口の設置”を決定**したのであります。つまり、事業化に向けて企業などが神戸市に關係する医療機関などと**連携し**、神戸に定着した事業展開をする事になります。

この事で進出企業などの医薬品や医療機器の創出のために【確実に神戸に根付いてもらえる事になりますのであります】

但し、相談窓口を設置した段階なので、橋渡しに向け組織を含めた受け入れ体制も平野は次のように具体的に求めております！

- ◆医療機関等は企業等へ事業展開に必要なビックデータを提供
 - ◆企業等は医療関係者への研究・開発に協力・支援体制が必要
 - ◆クラスター推進窓口は医療分野に精通したコーディネーターの十分な配置が必要
 - ◆現在、クラスター推進部隊としてコーディネーター26名体制だが今後、さらなる増員が必要
 - ◆高度専門病院群として9ヶ所の医療機関を対象にしているが、神戸市・兵庫県・大学・民間などの病院との理解と協力とともに超多忙な医療機関の先生方と具体的協議ができる連携調整も必要
 - ◆病院と企業との相談・事業化などに、両者を繋ぐ契約手続きが重要事項になるので、その体制強化が必要
 - ◆今後、企業と医療機関などと事業化に向けて綿密に連携するため、双方が一体となれるトレーニングラボの設置が最重要課題
- 今後、このような相談窓口体制により、事業化に向けての**進出企業が神戸に根付いてもらえること**を期待したいと思うばかりであります!!!

●各病院・施設のエリアMAP



出前市政相談 続けて11年目

時間ある限り街頭で皆様のご意見・ご提案を頂いています。そのお声をもとに市政につなげる活動をしています。これからも日々活動してまいります！



神戸空港駐車場舗装を提案後、スピード実現！



2018年12月本会議において神戸の玄関口である神戸空港駐車場の半分が舗装もされておらず「お粗末」早急に改善を！と平野が提案したところ、2019年2月末実現しました。

延期されていた 塩屋西地区養浜事業

離岸堤の設置と17mの砂浜整備により、今後東地区線路敷下の土砂流出対策と同時に、景観の良い市民が憩える塩屋海岸として生まれ変わります。



一連の不祥事が続いた教育行政だが～ 児童・生徒を中心にみつめ直す冷静な判断を!

**連帯責任にするのは
納得いかない!**



教育委員会に対してダメなものはダメ! 責任ある者が、迅速かつ主体的に動いて処分を下すこと! 何でもかんでも外部に託して、判断から逃げるな! 対策について抽象論を評論家のごとく並べるのではなく現実的な政策を提示せよ!

いじめ問題発覚後の教育委員会は「**組織風土改革**」という美名の下にすべての教職員に問題あるかのように、全校長などに“ボーナス増額見送り”と、**連帯責任の処分**をくださいました。しかし一方で、今、置き去りにされている**児童・生徒の学力向上など、本来の教育行政を一刻も早く取り戻さなければなりません!**

◎ そのような中でこの度、平野が提案・実現した学力向上に学習支援ツールの全市小・中学校配信と個別配信の画期的な活用が出来るようになり、さらに**放課後学習の取り組みまで導くことができました!!!**

★全小学生に個別配信実施!

教科書の解説は**プリントやアニメで確認できますよ～**
◇ 昨秋より、市内の各小・中学生すべてに学習支援ツールの個別 配信用ID を配布させました。これによって各家庭で、ネットを使って教科書に準拠した学習内容のプリントやアニメの解説を確認出来ることになったのです。

平野がここ数年間、粘り強く要求してようやく実現しました。



★放課後学習も支援員により各校で幅広く実施!

支援員さんにより効果的に取り組めますよ～

- ◇ さらに、来年度よりそのツールを活用して放課後に“**学ぶ力・生きる力**”向上支援員による効果的な取り組みとして、放課後学習を各校で幅広く実施されることになりました。
- ◇ また学校によって地域のボランティアによる補習教室も支援しています。



★そして今、子どものため、保護者のため、教員のための 「PTA改革 つまり 学校改革」を!

神戸市垂水区で中学校の校長先生が実際に取り組まれてますよ～
学校改革として既に実証済みの本が全国的な話題になってますよ～



そこで、本会議にて平野質問～

「この学校改革の取り組みについて」
後藤教育委員会次長の答弁～



支援員は

「学ぶ力・生きる力」向上支援員は、平成27年度から神戸市立小中学校に順次配置され、平成28年度からは、全小中学校に配置されています。

その「学ぶ力・生きる力向上支援員」を昼休みや放課後等に、**コンピュータールームで生徒指導する事**を職務内容として位置づける提案をし、**実現**しました。

「議員から紹介された事案、もちろん本も読ませて頂き
自治体も把握しており、この優れた取り組みは全市に広めたい」

との答弁でしたので、その取り組みをご紹介します!

問合わせや講演実績
朝日新聞、毎日新聞
読売新聞、神戸新聞
北海道新聞、西日本新聞
山口大学
大阪市立大学
宝塚市立小中学校
武蔵野市議会
東京都区議
岡山県総社市
和歌山県有田市
(PTA組織対象)
明石、宝塚、尼崎、川西 等

PTAのトリセツ
～保護者と校長の奮闘記～
役員は全員立候補!
学校運営に保護者が参加する
PTA不要論を覆す逆転の発想

- 最近、話題のPTAについて、その改革に取り組んだ**保護者と校長双方の視点**からまとめられた本です。
- 全国的な話題となっているこの本は、PTA改革、つまり**これからの時代に必要な学校改革**の内容であります。
- いま学校現場では、ますます、**子どものニーズ**に合った指導が求められ、同時に**先生方の多忙化**解消のための働き方改革も求められます。
- そこで、考えられたのが**保護者の学校運営への参画**です。
- そう聞くと、保護者の負担が増えるとか、学校への要求による先生方の負担とか、様々な不安要素が指摘されますが、決してそうではなく、**子どものことを大切に思う保護者の願いと、それに応えようとする先生方の熱意をうまく築いていくノウハウ**本です。本当に素晴らしいやり方です。
- この取り組みは垂水から神戸、さらには全国に発信されつつあり、私もぜひバックアップしていきたいと思えます。

生まれ変わる海辺のまち 心おどる駅前空間へ

提提案

垂水駅北側の東西広場に“やすらぎ”をあじわえるような
レトロ調の街灯やイルミネーションなどによる魅力づくりの検討を!



但し、レバンテ広場などは、これまでのイベント行事に支障のない整備を～

このリノベーション・神戸～垂水活性化プランは大きな方向性を打ち出したものであり、**平野の提案**を申し入れながら、詳細についてはこれから具体的に示すことになるでしょう。

中核的医療施設
中核的医療施設を垂水養護学校跡地・垂水体育館用地(計7,340㎡)に産科機能及び小児救急を含めた救急医療の機能を持つことを条件に急性期医療を担う中核的医療施設を病床数 概ね200床を配置する。

提提案 但し、特定の医療機能などの条件だけでなく、医療水準の高い医療機関を配置することを強く求めたい。

垂水駅北西側駐輪場用地に1階一般車乗降用ロータリー 2・3階バイク駐輪場約300台 令和2～4年度設計・工事 令和5年度共用開始

提提案 ただ、この場所はJR高架下に各店舗が並んでおり3階建の駐輪場施設では駅前の景観を壊すと思われます。よって、3階建でなく当初の計画通り平面のままのロータリーと駐輪場に見直すことも必要でしょう。



商大線西側天神川上部を歩道と駐輪場に活用国道2号線北側からJR・山電高架北の信号までの天神川上部を整備し、**歩行者の安全を優先しながら駐輪場として80台を確保供用開始時期令和3年中旬頃。**

但し、国道2号線から高架手前の天神川上部を令和2年6月より歩行者のみ通行を可能にします。

中核的医療施設

駅周辺の市用地を活用し、令和6年頃までに垂水区の人口増(約1,500人)予定
民間再開発270戸
高丸市営住宅跡地170戸
旭が丘50戸
泉が丘30戸
など活用し民間事業者による住宅公募

再開発事業

垂水小学校建替 令和7年度校舎共用開始 運動場令和7年度中に整備完了予定

但し、学校運営しつつ建替。工事用地面積も狭く、運動場北側の段差がある所より文化財が出る可能性もあり、プールのある東側か南側から工事を始めるか方針決定が複雑であり、設計まで2年はかかりそうな状況であります。

子育て支援拠点

子育て支援拠点に 垂水レバンテ体育室跡地整備

新垂水体育館が令和4年度供用開始により、レバンテ体育室機能の移転後「おやこふらっとひろば」に(乳幼児0歳から2歳くらいまでとその保護者など)さらに、来年度他の機能なども検討し、**令和5年度より供用開始**



新垂水図書館建設

2・3階エレベーター付き(1,500㎡)
(現垂水図書館 686㎡)
JR垂水駅東口北側の東駐車場に3階建設 令和2年度～4年度設計・工事 **5年度共用開始**
現駐車場を廃止、1階に一般車乗降用ロータリーと荷捌き用地

垂水駅前再整備の“顔は図書館!”と神戸市が
であれば～

提提案 新垂水図書館3階建て計画を4階建てにして民間による“にぎわい施設”の提案を行い、図書館と一体的に区民が憩える施設建設を申し入れてます!
(★現図書館移転後の施設は有効活用したい)

提提案 ハンディキャップのある方には駐車場は必要ロータリー機能をメインにしつつも駐車場機能も併用

垂水駅

一般車ロータリー

垂水駅中央地区再開発計画 垂水駅JR東口北側神田町に 民間再開発事業 令和6年度供給予定
施設計画案の概要は地上30階・地下1階、高さ101m、店舗約3,100㎡、住宅約270戸等現時点での公表されている内容です。

“垂水中央東地区民間再開発事業”～この機会に

提提案 JR垂水駅東口～交差点「吉野家」北側待機場所の拡幅や交差点北向き一方通行の歩行者安全対策や荷捌き用地検討



垂水スポーツガーデン 令和4年4月オープン予定

新垂水体育館 1,000㎡ 天井高 12m
現垂水体育館 547㎡ 8m



提提案 今後、新体育館完成に向け、全市を統一した運営方針を見直す。公的競技、神戸市スポーツ協会登録などの取り扱いや予約時期や抽選方法など公平性と透明性の明確な基準づくりを行う。間仕切り可能な設備により、多くの利用者に活用頂ける運営を行うなど。